

2012年3月30日

(株)日本サンガリアベバレッジカンパニー

サンガリア製品の放射能安全性について

東日本大震災後、関東及び南東北地方の多数の農産物等（野菜、緑茶、食肉など）および水道水から食品衛生法上の暫定規制値を超える放射性セシウムが検出されたとの報道があり、昨年末の放射性物質対策部会では厳格化された暫定基準値が設定され、今年4月の製造品より厳格化基準値が施行されます。

本件につき、下記の通り弊社製品に関する放射能安全性についてご報告いたします。

1. **【農産物等産地】**: 現在東日本の緑茶は使用しておりません。また厳格化されたセシウム暫定規制値100ベクレル(Bq/Kg)を超える発表のあった都県の農産物等も使用しておりません。果汁を含む多くの農産物等原料は考慮するに及ばない海外産となっています。
2. **【農産物収穫年】**: 今年の製造品より、昨年(2011年)収穫した緑茶等農産物を使用し始めました。国産原料については全てガンマ線スペクトロメーター(検出限界は検体・測定条件により異なりますが1~10 Bq/Kgです)で放射能を検査確認して選定使用する体制を取っております。
3. **【生産工場と原水】**: 弊社の大多数の製品は福島第一原発400km圏外となる西日本の自社工場(製造所固有記号: 大阪本社 SNG, 今川工場 SNG1, 伊賀工場 S1, 上野工場 SNG39)を中心に生産(一部は西日本の委託工場)しています。圏外では当然のことですが自社工場原水(純水)から放射能は検出されませんでした(厳格化された飲料水セシウム暫定規制値10ベクレル以下)。東日本の委託工場でも少量を生産しており、その製品に使用する原水(純水)の放射能測定を行いました。全て検出されませんでした。
4. **【製品検査】**: 東日本の委託工場で少数を生産している製品についてガンマ線スペクトロメーターで測定しましたが、全て検出されませんでした。同様に、国産農産物を含む製品も、全て検出されませんでした。さらに全製品についても検査確認しましたが、いずれにも放射能は検出されませんでした。

以上のようにサンガリア既存製品は厚生労働省の食品中の放射性物質に係る今年4月より施行の新基準値に既に全て適合しており、安全性が確認されていることをご報告申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧賜りますよう宜しく御願ひ申し上げます。

以上

測定装置の写真を添付

1：放射線量測定器

2：ガンマ線スペクトロメーター

